

第24回 在宅ケアネットワーク栃木

(総会・シンポジウム)



テーマ 「お互いさまの処方箋」 健やかに、心豊かに、幸せに。
～社会的処方～

日時 2020年2月11日(火・祝) 会場 自治医科大学 地域医療情報研修センター 大講堂
10時00分～16時00分(9時30分開場)

【大会長メッセージ】

第24回 在宅ケアネットワーク栃木大会長 村井 邦彦 世話人 (村井クリニック 院長)

病気を治療しても、日常の生活習慣が改善できずに再び悪化させてしまう患者さんがいます。また、病気が進行する前にするべき予防策があったのではないかと感じる患者さんもいます。私たちはこれまで、このような患者さんの社会的背景をよく考えずに、「自己責任」、「意志が弱い人」と諦めてしまったかもしれません。

人の「健康」は、遺伝子や生活習慣などの生物学的要因だけでなく、「個人の社会・経済要因」と、国の政策や職場・コミュニティでの人のつながりの豊かさ(ソーシャル・キャピタル)を含む「環境としての社会要因」に大きく影響を受けています。職場環境・所得・教育などにおける格差、社会的孤立と孤独は健康格差を生み出します。これらを「健康の社会的決定要因(SDH)」と呼びます。

社会的処方とは、患者さんの社会的なリスクに対して地域全体で対応することで、ケアの質の向上と健康アウトカムの改善を達成する試みをいい、英国をはじめ諸外国で普及しつつあります。今大会では、皆さまと一緒に日本における社会的処方の方向性、健康格差を縮小するまちづくりの取組、教育と子育てへのアプローチについて考えてみたいと思います。

【プログラム】

総合司会者：黒崎史果 世話人

10:00～10:10 開会挨拶 村井邦彦 世話人

10:15～10:30 オープニング 『内科医師の想い』

講演者：千嶋巖さん(NHO 栃木医療センター)

座長：村井邦彦 世話人

10:35～11:35 **第一部** 基調講演

「日本で社会的処方を普及するために

～認知症にやさしいまち、SDHを含めて～」

講演者：尾島俊之さん 浜松医科大学健康社会医学講座 教授

座長：永島 徹 世話人

11:35～12:35 休憩・昼食(1時間)

12:35～13:20 **第二部** アピールタイム：1団体3分×10団体

進行担当：栗本孝雄 世話人

13:25～15:05 **第三部** 活動報告

シンポジスト 澤登久雄さん 社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院

地域ささえあいセンター センター長

「まちづくりのために今、専門職が、企業が、住民ができること」

畠山由美さん 認定NPO法人だいじょうぶ 理事長

「これからの子育て支援を考える～母子の居場所の取組みの紹介～」

濱野将行さん 一般社団法人 えんがお 代表理事

「作業療法の視点を生かした社会的処方の実践事例」

15:10～15:40 **第四部** シンポジウム「日本における社会的処方の方向性を考える」

座長：高橋昭彦 世話人 コメンテーター：尾島俊之さん

15:45～15:55 次回 第25回大会長挨拶：鶴岡優子・黒崎史果 世話人

16:00 閉会

閉会后、別室にて参加者登壇者の交流の場「ぷらっとカフェ」開店 ～17:00

◆ポスター発表・活動アピール・ボランティア募集◆

締切り 2020年1月15日(期日厳守!)

(1) ポスター発表(9:30～16:00)

会場ホールでポスター掲示による呼びかけや研究発表(非営利限定)ができます。

(2) 活動アピール(12:35～13:20)

団体の活動を壇上でアピールすることができます((非営利限定・先着10団体)。各団体3分間の時間厳守です。

① 採用を確認後、PC用ビデオファイルまたはPowerPointの自動スライド(3分以内)を作成し、2月8日までに送ってください。口頭のみでの発表の場合は不要です。

② 活動アピールの内容は自由です。

③ 発表者挨拶は1名のみ。ビデオ・PowerPointの操作は事務局にご一任下さい。

(3) ボランティア

大会当日の準備・運営、カフェのボランティアを募ります。

以上、(1)から(3)の応募・お問合せは、電話、またはE-mailにて右記のネットワーク事務局までご連絡ください。

◆ 参加受付 ◆

締切り 2020年1月31日

(事前参加・弁当申込)

(1) 大会参加費(兼)年会費

一般会員 1,000円、学生会員 500円
(定員800名)

※会員でない方は、当日会場で入会手続きをお願いします。

(2) 参加申込

円滑な大会運営のため、「事前申込」(郵便振込)にご協力ください。

※昼食弁当飲み物付き(1,000円)を、事前申込と同時に受付けます。

【振込み先】

ゆうちょ銀行

口座記号番号： 00180-1-418778

加入者名： 在宅ケアネットワーク栃木

※振込用紙の通信欄に「参加者住所と氏名」、「弁当個数」を記載し、合計額をお送りください。

(まとめて振込の際は全員の住所氏名の記載して下さい)

当日参加も可能ですが、出来る限り事前申込をお願いします。 弁当は事前申込のみ



【応募・問合せ先】

在宅ケアネットワーク栃木事務局
ゆいの里(イイジマ)

電話：0287-38-1868、FAX：0287-38-1869

E-mail：npo-yui@yuinatosato.gr.jp

第24回 在宅ケアネットワーク栃木 「お互いさまの処方箋」健やかに、心豊かに、幸せに。～社会的処方～ 見どころ紹介



英国では、患者の健康とウェルビーイングの向上を目的に、医学的処方に加えて、患者を地域の活動やサービス等につなげる社会的処方 (social prescribing) と呼ばれる取り組みを行うかかりつけ医が増えてきています。一般的には、リンクワーカー (Link Worker) と呼ばれる人材が介在し、GP (General Physician) が必要に応じて患者をリンクワーカーに紹介すると、リンクワーカーが当該患者に地域の活動やサービスを紹介する仕組みとなっています。

例えば、メンタルヘルスに問題がある患者に地域の趣味の会やウォーキングクラブの活動を紹介しますと、患者がこの活動に参加することにより孤独感が緩和され、身体症状の改善、ウェルビーイングの向上が期待できるというわけです。

栃木には、地域で様々な取り組みをしている人や団体が多数あり、比較のお互いが見えているなという実感があります。今大会で皆様と一緒に社会的処方を考えることによって、これらの人と団体がネットワーク化し、さらに社会資源の見える化をお手伝いすることによって、健康で幸せに暮らすことができるまちづくりができると考えています。

今大会は、市民、自治会、民生委員、福祉協力員、地域包括支援センター職員、ケアマネジャーをはじめ介護職、医療職、行政、社協、マスコミなど、多くの方に役立てて頂けるように企画を練りました。大勢の皆様のご参加をお待ちしています。

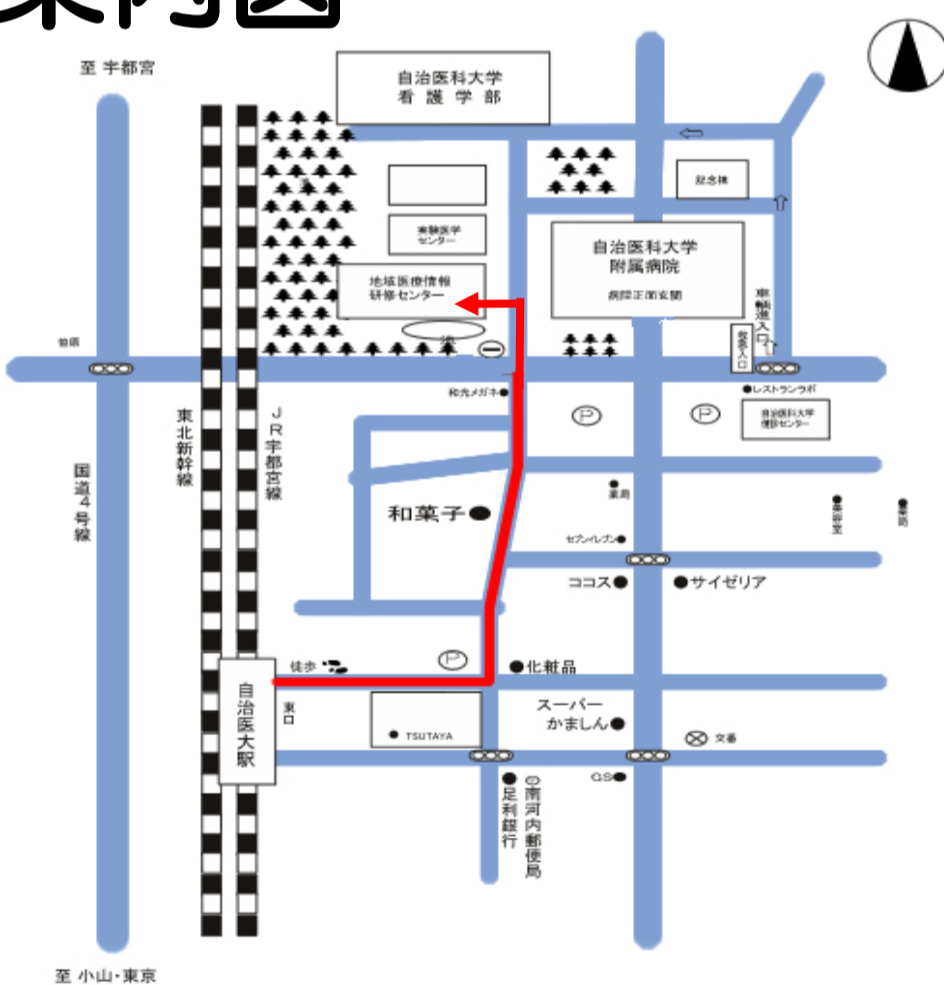
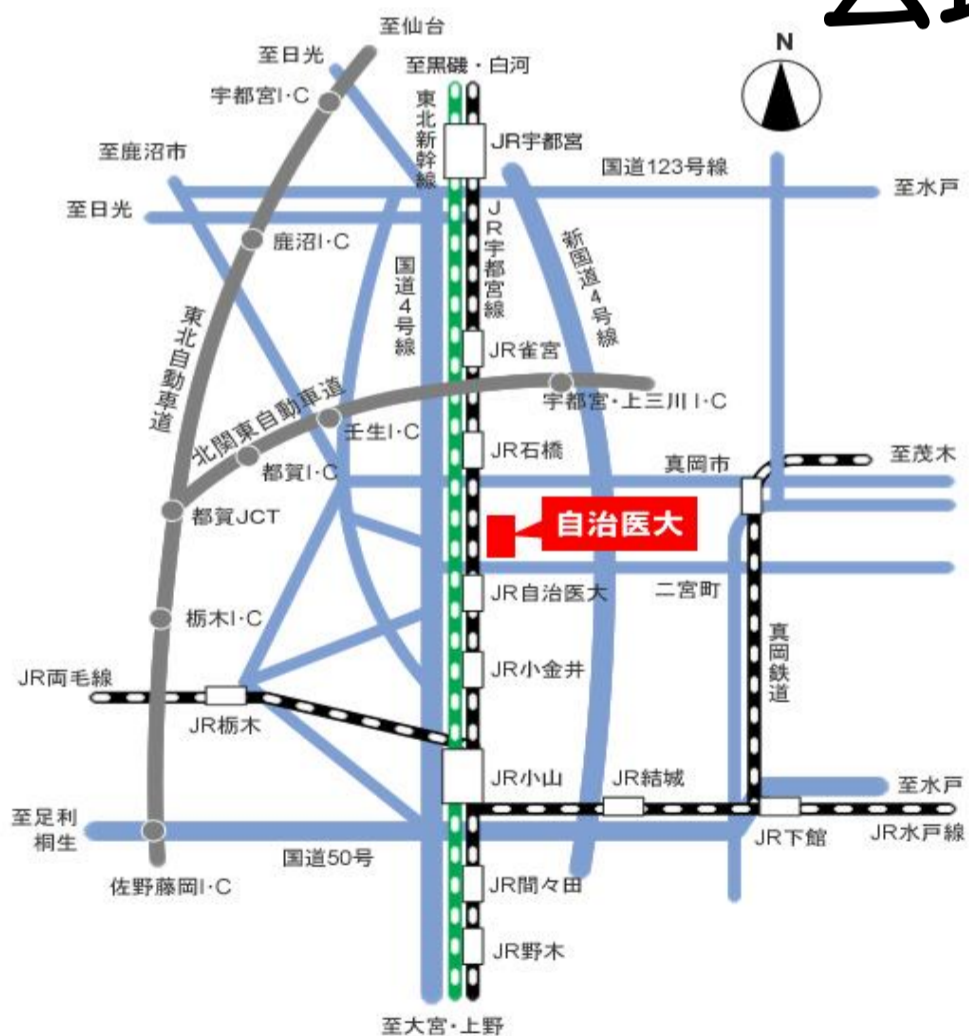
第24回大会長 村井邦彦

<キーワード>

- 社会的処方
- SDH (健康を決定づける社会的要因)
- ウェルビーイング
- ポジティブヘルス
- 治療・予防の上流
- 子どもの貧困
- 共創
- ヘルスプロモーション
- まちづくり



会場案内図



会場：自治医科大学 地域医療情報研修センター

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1

▶ JR 宇都宮線 「自治医大駅」下車、徒歩 10分

▶ 東北新幹線 小山駅または宇都宮駅 下車、宇都宮線の普通電車に乗り換え



**職種を問わず、関心ある方々のご来場
多くの市民の皆さまの参加をお待ちしております！**